

菅原 憲一（大学院保健福祉学研究科兼務）

2 学術論文

1) The effect of initiation prediction and non-prediction on muscle relaxation control. Hitomi Matsumoto, Yuma Takenaka, Tomotaka Suzuki, Kenichi Sugawara. Journal of physical therapy science 35(4) 293-299 2023年4月

2) Evaluating the immediate effect of the speed alteration task on walking stability using the Timed Up and Go test Masayuki Tsuchida, Yuma Takenaka, Tomoya Kokue, Tomotaka Suzuki, Chihiro Kurosawa, Yuya Yokouchi, Yoshihiro Kai, Kenichi Sugawara. Journal of Physical Therapy Science 35(4) 281-288 2023年

3) Corticospinal excitability changes during muscle relaxation and contraction in motor imagery
Yuma Takenaka, Hitomi Matsumoto, Tomotaka Suzuki, Kenichi Sugawara
European Journal of Neuroscience 58(8) 3810-3826 2023年8月29日

4) Comparing movement-related cortical potential between real and simulated movement tasks from an ecological validity perspective. Kakuya Ogahara, Akira Nakashima, Tomotaka Suzuki, Kenichi Sugawara, Naoshin Yoshida, Arihiro Hatta, Takefumi Moriuchi, Toshio Higashi Frontiers in human neuroscience 17 1313835-1313835 2023年

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本基礎理学療法学会 評議委員（2021年9月16日から）
- 2) 三浦市障害者介護給付等の支給に関わる審査委員
- 3) 日本基礎理学療法学会評議委員
- 4) 日本基礎理学療法学会学術大会 演題査読委員
- 5) 日本理学療法学会連合の和雑誌『理学療法学』、洋雑誌 Physical Therapy Research 編集委員
- 6) 日本理学療法学会連合の和雑誌『理学療法学』、洋雑誌 Physical Therapy Research 『理学療法学』 論文査読委員
- 7) 第28回基礎理学療法学会学術大会 一般口頭演題座長。広島国際会議場（広島）
- 8) 非侵襲的脳刺激と理学療法に関する検討委員会 2023年度セミナー講演：TMSの基礎知識と安全性，令和6年2月10日（東京都立大学）

5 社会貢献

- 1) 日本赤十字社神奈川県支部 評議員 (令和4年3月まで)
- 2) 慶育病院リハビリテーション科 非常勤理学療法士 (臨床指導)
- 3) 2023年度 日本理学療法協会理学療法にかかわる研究助成の審査

7 学会等での活動

- 1) Tomoya Kokue, Yuma Takenaka, Kenichi Sugawara. Kinematic control in active acceleration and adjustment of gait speed World Physiotherapy Congress Dubai (UAE) June 2023.
- 2) Y. Takenaka, H. Matsumoto, T. Suzuki, K. Sugawara. Background muscle state changes corticospinal excitability during motor imaging of muscle relaxation and contraction. World Physiotherapy Congress Dubai (UAE) June 2023
- 3) K. Sugawara, Y. Takenaka, H. Matsumoto, T. Suzuki. Differences in the effect of sensory afferent inhibition on output mechanisms of agonist and antagonist muscles. World Physiotherapy Congress Dubai (UAE) June 2023
- 4) H. Matsumoto, Y. Takenaka, T. Suzuki, K. Sugawara. Characteristics of muscle relaxation control in stroke hemiplegic patients. World Physiotherapy Congress Dubai (UAE) June 2023
- 5) N. Hida, H. Matsumoto, M. Kubo, K. Nisikata, M. Watanabe, K. Sugawara. Effect of Sling Exercise Therapy on Hemiplegic Gait. World Physiotherapy Congress Dubai (UAE) June 2023
- 6) 沼田純希、寺尾安生、富樫尚彦、長谷川一子、菅原憲一、宇川義一、古林俊晃
パーキンソン病患者における下肢の時間的同期能力の特徴 第53回日本臨床神経生理学会学術大会 (福岡国際会議場、福岡市) 2023/11/30
- 7) 沼田純希、寺尾安生、富樫尚彦、長谷川一子、菅原憲一、宇川義一、古林俊晃
パーキンソン病患者における下肢の時間的同期能力と歩行障害の関連性 第28回日本基礎理学療法学会学術大会 (広島国際会議場、広島市) 2023/12/2
- 8) 竹中悠真, 鈴木智高, 菅原憲一. 「運動学習に伴う運動イメージ中の皮質脊髄路興奮性の変化」 「第28回日本基礎理学療法学会学術大会」 広島国際会議場 (広島) 2023/12/2
- 9) 小久江智耶, 竹中悠真, 菅原憲一. 「能動的な歩行速度の減速調整に関わる運動学的制御」 「第28回日本基礎理学療法学会学術大会」 広島国際会議場 (広島) 2023/12/2
- 10) 松本仁美, 竹中悠真, 鈴木智高, 菅原憲一. 「脳卒中片麻痺患者における反復練習後の筋弛緩制御の変容に関する検討」 「第28回日本基礎理学療法学会学術大会」 広島国際会議場 (広島) 2023/12/2
- 11) 山本真生, 菅原憲一, 竹中悠真, 鈴木智高, 近藤国嗣. 「末梢神経電気刺激中の tonic contraction における筋出力調整が皮質脊髄路興奮性に及ぼす影響」 「第28回日本基礎理学療法学会学術大会」 広島国際会議場 (広島) 2023/12/3

- 12) 安武快, 柳瀬美空, 竹中悠真, 小久江智耶, 菅原憲一. 「効率的運動学習を構築するための方法論の検討」 「第 28 回日本基礎理学療法学会学術大会」 広島国際会議場 (広島) 2023/12/3
- 13) 柳瀬美空, 安武快, 小久江智耶, 竹中悠真, 土田将之, 菅原憲一. 「リズム音刺激による加減速歩行誘導時の運動学的制御」 「第 28 回日本基礎理学療法学会学術大会」 広島国際会議場 (広島) 2023/12/3

8 学内教育活動

- 1) 基礎運動療法学における視聴覚教材作成、運動療法各種手技に関する演習指導の開発
- 2) 電気生理診断特論における視聴覚教材および実習指導教材作成、実験結果発表指導
- 3) 大学院博士前期課程『運動機能制御学特論および特論演習』における実験方法論および講義視覚教材作成
- 4) 大学院博士後期課程『リハビリテーション病態解析学特論および特論演習』における実験指導
- 5) 大学院修士博士前期課程院生 (M1 ; 2 名, M2 ; 1 名) の指導教員
- 6) 大学院博士後期課程院生 2 名 (D1 : 2 名, D2 : 1 名, D3 : 1 名) の指導教員
- 7) 日本学術振興会特別研究員受け入れ

9 学内各種委員会活動

- 1) 研究科運営会議 委員長
- 2) 総務企画委員会 委員
- 3) 全学入試委員会 委員
- 4) 自己評価審査会 委員
- 5) COI 委員会 委員
- 6) アドミッションセンター長
- 7) 内部質保証推進部会部会長

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 令和 2 年度～令和 5 年度 科学研究費助成 (基盤研究 C) 運動スキル特異的電気刺激を用いた新たなリハビリテーションプログラムの開発 研究代表者
- 2) 令和 3 年度～令和 6 年度 科学研究費助成 (基盤研究 C) 研究分担者
- 3) 令和 5 年度～令和 7 年度 科学研究費助成 (基盤研究 C) 研究代表者